

幾代会観察会(2021年10月)のまとめ

- ◆日時 2021.10.10(日)
- ◆散策場所 あきる野市 秋留台公園他
- ◆ポイント 天然記念物と秋バラの観察
- ◆散策ルート 東秋留駅…二宮神社(フジ、ご神木のヒノキ)…玉泉寺(エノキ)…

戸田家(クスノキ)…秋留台公園(ケヤキ並木・イチョウ並木・秋バラ)…大塚公園(古墳)…旧秋川高校(メタセコイアの並木)…

武蔵引田駅

- ◆参加者 浅井雅子さん(初参加) 土方博子さん(初参加) 太田さん、中部さん、須崎さん、宇津木さん、石川さん、羽深さんと越前の9名：下見9月30日3名



散策路ルートマップ

◆感想

10月の幾代会は何年かぶりの嬉しい新人2人に参加して貰い、ウキウキ気分が充満しています。どうぞどうぞの気分に満ち溢れた和やかな賑やかな観察会で良かったです。

◆10月の植物観察会のポイント3点

●二宮神社のご神木



外側の朽ちた切り株はご神木の杉だったが昭和41年（1966年、55年前）の台風26号で倒れ、その後、切り株の中に3本のヒノキが実生で生えてきたので、ご神木として大事に育てている。境内ではいたる場所から実生のヒノキが生えていて、切り株の中は種がたまりやすく陽が当たるので実生のヒノキが生えるには好条件。

アルミのフェンスで囲まれたご神木は大事に守られていました。

●秋留台公園の秋バラ



モダンローズを主体に110種450株が植栽された東欧風の花壇。

床が沈んだ形なので見降ろし又、見渡せて香りがたまるように設計されている。真ん中の円形花壇には特に香りの強い品種を植栽。3年に一度の世界バラ会議で選出された殿堂入りのバラが7種類ある。全体では16種が殿堂入り。殿堂入りのバラの選定基準は「育てやすく、みんなから愛されて誰もが美しいと思うバラ」

●メタセコイア



都立秋川高等学校の跡地に南北150mの並木が残る。メタセコイアは恐竜が全盛期だった中生代ジュラ紀（約2億年前）に栄えた植物。

その後ほぼ絶滅したが1946年中国の四川省に現存することが確認された。1949年に日本政府と皇室が挿し木と種子を譲り受け全国に

植えられた。大木でもせいぜい樹齢が70年で成長の早い木。2億年前に繁栄し現在も原始的な形態を残しながら生き続けているので「生きた化石」と言われる。

全国的に見てもこの並木は古く、とても貴重。

◆散策路の植物アレコレ



9時50分に武蔵引田駅に到着する予定の電車でホームに降り立ったら前後に幾代会の面々のニコニコした顔が見られた。羽深さんの顔が見えないと思ったら改札口の外で「1本早い電車で来たよ」それは素晴らしい！何気に参加者が集まると初参加の土方さんと浅井さんとも無事に合流！！ほっ。

自己紹介と本日のコースを簡単に紹介して最初の観察地、二宮神社へ一列に成って向かいました。途中、目に飛び込んできたのはフワフワでもっこりと風になびいたパンパスグラス。さながら豪華なジャンボススキ。アラアラ秋ですねえ。

車道を皆でそれ〜と横切り二宮神社のお池の脇。



ネズミモチ:、表から透かしてみると主脈が透けて見えるが、裏面から透かすと側脈は見えない。側脈の部分は周辺よりも暗く見え、主脈の周辺も暗く見える。

トウネズミモチ:、表から透かしても、裏面から透かしても主脈、側脈ともに透けて見える。特に裏面から透かすと明瞭に脈が透けて見える。

両者は透け具合が違います。そして長い緑の実がネズミモチ。



二宮神社では透き通った涸れないお池の湧水と天然記念物の藤を観察。関東地方に多いノダフジと近畿以西に多いヤマフジの説明。何故か巻き方が反対です。本殿脇に植栽されている篠竹を見ながら珍しい筒粥の神事の説明。サテサテ今年の農作物の出来はいかがだったでしょうか？二宮神社にマッチした日本風な二宮考古館でトイレ休憩とグル〜と館内の観察。フムフム



続いて二宮神社からほど近い玉泉寺で市の天然記念物のエノキを観察。断崖にどっしりと根を下ろしたエノキは幹回りが4.3mで樹高が22m、青梅市の今寺の交差点にある「一里塚のエノキ」は幹回りが3.8mで樹高が15m。こちらのほうが見た目にも一回り大きく風格があります。ここで須崎さんからエノキの巨樹についてレクチャーして貰いました。樹木はやっぱり須崎さんですね。有難うございました。前向きな石川さんはメモ帳にシッカリ覚書。

玉泉寺にはエノキの他にも本堂前の立派な松や醤油樽に収められた観音様や恵比寿様など見ど



ころが一杯です。

こちら市天然記念物に指定された戸田家のクスノキ、こんもりとした樹幹は遠目にもクスノキと解ります。クスノキは全国の巨樹ベスト 10 本のうち 8 本までが本種。元気に何時までも長生き出来る樹木なのですね。須崎さんから昔懐かしいニッキ飴の差仕入れ。藤にエノキにクスノキの天然記念物を観察して五日市街道を西に進み、お昼を食べる秋留台公園へ。バラ園と競技場の間のベンチでそろって仲良くお弁当！！

マメな宇津木さんから手づくりのナツメの甘露煮をそれぞれに差し入れ。ナント 3 回もあく抜きをするそうです。本当にマメ～～、ありがとうございます。これからも宜しく！



お腹がいっぱいに成り、いざ秋留台公園のバラと樹木の観察。

10 日前の 9 月 30 日の下見では数輪のバラしか開花していなかったのに今日はかなりのバラが色とりどりに香りとともに咲き始めています。参加者の行いが良いからね。ここで幾代会の旅

行好きな太田さんが「パリのシャルルドゴール空港と同じ名前のバラが素晴らしい」と探しています。会話の内容が多彩で何時も元気！良い刺激を貰えました。

バラを観察した後は園内のイチヨウ、メタセコイア、ケヤキ並木をお喋りしながらぐりと一周。地元のボランティアが手入れした野草園ではシュウメイギク、キチジョウソウ、カリガネソウ、ジュズダマなど秋の野草が見られました。ボランティアの皆さん、有難うございます。これからも宜しく！



秋川駅を通り過ぎ日の出イオンモールの近くで旧秋川高校跡地のメタセコイアの並木を観察。

通りかかった男性に今日のとびつきりをお願いしました。皆さん、揃ってニッコリ！

色づき始めたメタセコイアの並木は1965年に希望とともに一期生で植栽され、校舎が取り壊された今も一直線に理路整然と天に向かっています。これまで一体どのようなドラマを見てきたのでしょうか。足元は秋風にたなびく一面のススキが原でした。小池都知事は此処をどのようにされるのでしょうか！

旧秋川高校の跡地をテクテクと一周して乗車駅の武蔵引田駅へと向かいました。武蔵五日市線の道路際にあらま〜スダジイのドングリがドッサリと落ちていました。誰からともなく早速、幼小に戻り全員でドングリ拾いです。あく抜きをしなくても食べられる数少ない美味しいドングリです。かつて、昭和記念公園の観察会でも拾いました。ここで中部さんから「熟したのを拾うんだ」と大事な説明をいただきました。



な説明をいただきました。

臨床検査・検査試薬事業を中心に、医療現場の支援サービスを行うHUグループ企業の守衛場の横に植栽されていた？だった立派な樹木！皆で検討した結果、トキワマンサクと同定できました。良かった！

さすが植物観察会です。

武蔵引田駅のホームで最後のご挨拶！チョット暑く、本当にお疲れさまでした。初参加の土方さん浅井さんから「楽しかった」「丁寧に説明して貰えた」との嬉しい感想を戴きました。

待っていますから、これからも懲りずに参加してください。

来月、11月の観察会は玉堂が愛した白丸です。(越前記)